

【普及課】

苫小牧市矢代町3丁目1-18

TEL：0144-72-5123

FAX：0144-74-0754

【豊浦事務所】

豊浦町字船見町10 豊浦町役場内

TEL：0142-83-2481

FAX：0142-83-3521



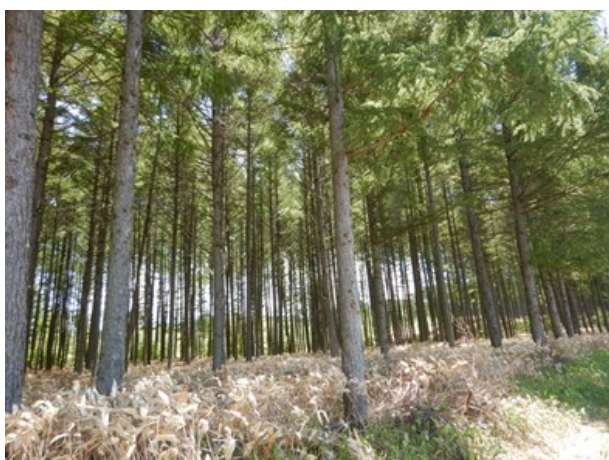
令和3（2021）年度『森と人を育てるコンクール』優秀賞受賞

「森と人を育てるコンクール」は、適切な森林整備を実施し地域の模範となる優良林分を育成している森林所有者を対象に表彰を行うもので、この度、厚真町の幌内自治会がカラマツの部で優秀賞を受賞されました。

受賞林分は自治会が幌内地区に所有しているカラマツ人工林37年生、面積1.25ha、平均樹高24.6m、平均直径26.5cm、haあたり本数667本、haあたり材積427m³で、良質材生産を目指し適切に管理・育成してこられたことが評価されました。

自治会の山づくりは、自治会活動を促進するための財産として山林を取得したのが始まりで、専任の山林管理者を置いています（後出の黒川指導林家が担当）。また、山の手入れは自治会住民の労力で継続的に行うことで、住民が山に関わりを持てるよう工夫しています。

令和3年12月24日（金）に厚真町で行われた賞状伝達式では、大原自治会長が代表して「賞に恥じぬような森づくりをしていきたい」と新たな決意を語られました。今後も今回の受賞を励みに、住民相互の結束を高める場として自治会林を活用しながら、豊かな森林づくりを継続されることが期待されます。



受賞林分



賞状伝達式

（左から）苫小牧広域森林組合山崎専務、中村森林室長、大原自治会長、黒川指導林家、宮坂厚真町長、松平指導林家

祝! 令和3（2021）年度『北海道産業貢献賞』受賞

北海道では、地域林業の発展や木材産業の振興に貢献されその功績が顕著な個人・団体に対し、「北海道産業貢献賞（森林づくり功労者）」を贈呈しています。

今年度は全道で9名の方が受賞され、胆振管内では胆振西部森林組合代表理事組合長（当時）の渡辺常雄さんが「林業関係部門」で本賞を受賞されました。

渡辺さんは豊浦町在住の72歳。農業に従事しながら自宅近くに広がる所有林の整備も続けられ、平成12年に豊浦町森林組合（当時）理事となり、その後、組合の合併に伴い胆振西部森林組合理事を勤め、平成19年に副組合長、平成25年からは代表理事組合長に就任されたほか、平成29年には北海道指導林家に認定され、地域の森林整備の牽引役としてご活躍されてきました。

胆振西部地域の森林整備を一手に引き受ける森林組合のトップとして、造林・除間伐等の適正な推進はもとより、木質ペレットの受託製造・販売など木材利用による地域振興にも長年力を注がれ、また北海道森林組合連合会理事や胆振地区森林組合振興会会長の要職を歴任、北海道の林業・林産業の発展に長年尽力されてきた功績が今回の受賞に繋がりました。

令和3年12月21日に札幌市内で開催された授賞式では、土屋俊亮副知事からの賞状授与の後、受賞者を代表して「本道林業・木材産業の将来に渡る安定した発展のため、一層の努力を重ねて参りたいと考えております」と謝辞を述べられました。

本年2月、惜しまれながら組合長を退任されましたが、今後も森林整備の実践者として、地域の森林所有者の良き相談相手として、ますますのご活躍をご祈念申し上げます。



謝辞を述べる渡辺さん



表彰状を手にパチリ

北海道指導林家の紹介

くろかわ としみち

～令和2(2020)年度の新たな認定者 黒川 利道 さん～

所有山林面積：約14ha（人工林5ha、天然林など9ha）



黒川利道氏

北海道では、平成12(2000)年度から、地域の模範となる林業経営を実践している意欲的な林家を「北海道指導林家」として認定しています。

令和2(2020)年度、胆振管内で19人目（厚真町では3人目）の北海道指導林家に黒川利道さんが認定されました。

新型コロナウイルスの蔓延で延期されていた認定証交付式が、令和3(2021)年12月24日（金）、厚真町において行われました。

交付式では、宮坂町長、松平指導林家等の立ち会いの下、胆振総合振興局森林室中村室長から認定証が手渡され、活動の際に着用する腕章及びバッジが貸与されました。

黒川指導林家は、自己所有山林をくまなく歩き、長年林業事業体で培った豊富な林業知識と経験を活かしながら森林施業を実践しています。胆振東部地震により所有林の約半分が崩壊しましたが、被害を免れた森林の育成や崩壊地の森林再生を目指しており、その姿勢は意欲的で地域の模範となるもので、今後地域林業のリーダーとしての活動が期待されます。

交付式でも「これからも森林所有者、住民の皆さんと森林の多面的機能や働きの勉強を一緒にしていきたい。そして山の四季の彩りを取り戻したい」と力強い抱負を述べられました。



松平指導林家(左)からユニフォームとヘルメットの進呈



丁寧に手入れされた所有林

春の森の動・植物



福寿草



アオジ



オオバナノ
エンレイソウ



クロツグミ



カタクリ

最近の木材市況

～ 道林業木材課調べ 2022年1月～

【道内の原木流通の動向】

- ・トドマツの原木消費量は、例年よりも多い状況があり、工場への入荷量は消費見合い程度で春先に向けての在庫の積み増しに不安感がある。
- ・カラマツ原木は、春先に向けての原木の積み増しができない工場が多く不足感がある。
- ・チップ原料材は保合

【胆振管内工場着価格】

樹種	材長 (m)	径級 (cm)	m ³ 当たり単価 (円)	前月差 (円)	100石当たり 単価 (円)
カラマツ	3.65	9～13	7,100	0	197,380
		14～18	9,100	0	252,980
		20～28	10,600	0	294,680
		30～	11,100	0	308,580
	パルプ		5,800	0	161,240
トドマツ	3.65	14～18	9,800	0	272,440
		20～22	11,200	0	311,360
		24～28	11,600	0	322,480
		30～	12,200	300	339,160
広葉樹	パルプ		8,800	0	244,640

注) 前月差欄の△印は、値下がりを示す。